

トトロの森 20 号地で開催された

「夜の森のいきものと蛍の観察会」で確認された昆虫

矢崎 英盛

(トトロの森ガイド、NACS-J 自然観察指導員)

要旨

2017 年 7 月 15 日にトトロの森 20 号地で開催された「夜の森のいきものと蛍の観察会」において、ライトトラップ・糖蜜トラップ・樹液に集まった昆虫を写真記録をもとに報告する。計 37 種の昆虫が確認され、その内訳は甲虫目 16 種、鱗翅目 11 種、半翅目 7 種、双翅目 2 種、直翅目 1 種であった。観察会の参加者に対してこれらの昆虫を実際に見せることにより、夜の森の生物相の豊かさを体験させ、葛籠入湿地周辺の自然保護活動への関心を啓発するという会の目的は果たされたと考えられる。

キーワード：樹液；糖蜜トラップ；ライトトラップ

はじめに

2017 年 7 月 15 日の夕刻に、トトロの森 20 号地および葛籠入湿地を主要な開催地として「夜の森のいきものと蛍の観察会」が開催された。これは、夏のトトロの森に生息する夜の生物の豊かさを参加者に感じてもらうと同時に、ヘイケボタルが盛期を迎えた葛籠入湿地の保全への啓発活動を目的としたものであった。筆者は同観察会の中で、トトロの森 20 号地に設置したライトトラップを用いて森の昆虫類を誘引すること、それを通してトトロの森の生態系について解説する役を担ったが、本報では、そこで確認された昆虫類について報告する。なお、このライトトラップは参加者に夜の生物を紹介することを主眼として行ったため、ガイド活動の合間に撮影した写真をまとめたものである。

今回調査を行なったトトロの森 20 号地は、埼玉県環境部による自然環境調査の「スポット 3」地域の一部に該当する。2011 年の初夏から夏にかけて行われた直近の調査では、14 目 117 科 279 種の昆虫がスポット 3 で確認されている（埼玉県環境部自然環境課 2012）。またトトロの森 20 号地に隣接する早稲田大学所沢キャンパスでは、1986 から 1988 年までの調査で、14 目 153 科 1273 種の昆虫が確認され（筑波大学昆虫調査班 1989）、その後 1993 年までに双翅目を中心に 7 目 53 科 284 種の記録が追加されている（三井 1993）。

調査方法

トトロの森 20 号地に、発電機を電力源とする 400W 水銀灯を設置し、18:00 から 21:00 まで点灯して白幕に照射した。また補助的に近くの木に糖蜜トラップ（湯に溶いた黒糖・酢・ビールを

2:1:1 で混合した溶液を樹皮などに塗布したもの) を設置するとともに、コナラ・クヌギの樹液に集まる昆虫もあわせて観察した。筆者は 18:00 から 18:30 までライトトラップに待機し、18:30 から 19:00 まではライトトラップ・糖蜜トラップ・樹液を観察する参加者のガイドを行った。参加者はその後 19:00 から葛籠入でのホタル観察に移動したが、筆者は 21:00 までライトトラップの地点に待機し、ホタル観察会終了後にさらに森での観察を希望した参加者へのガイドを随時行った。

結果

以下のように、5 目 24 科 37 種の昆虫を確認することができた。各種の写真を図 1~図 37 に示す。このうち 16 種が甲虫目であり、11 種が鱗翅目(全て蛾)、7 種が半翅目、2 種が双翅目、1 種が直翅目であった。昆虫の和名および学名は、蛾類以外は「日本産昆虫目録データベース」(九州大学 1999)に、蛾類については「List-MJ 日本産蛾類総目録 [version 2]」(神保 2016)に準じた。

(1) ライトトラップで確認された昆虫

1 スジハグルマエダシヤク *Synergia limitatoides*、2 ヨツモンマエジロアオシヤク *Comibaena procumbaria*、3 ボクトウガ *Cossus jezoensis*、4 ホタルガ *Pidorus glaucopis*、5 アカイラガ *Phrixolepia sericea*、6 チャドクガ *Arna pseudoconspersa*、7 シロテンキノメイガ *Nacoleia commixta*、8 カバマダラヨトウ *Anapamea cuneatoides*、9 オオゴモクムシ *Harpalus capito*、10 *Onthophagus* 属の 1 種 *Onthophagus* sp.、11 ヒメコガネ *Anomala rufocuprea*、12 アオドウガネ *Anomala albopilosa*、13 *Anomala* 属の 1 種 *Anomala* sp.、14 コフキコガネ *Melolontha japonica*、15 キマダラカミキリ *Aeolesthes chrysothrix chrysothrix*、16 ミヤマカミキリ *Massicus raddei*、17 ナミテントウ *Harmonia axyridis*、18 キムネツツカッコウムシ *Tenerus maculicollis*、19 ハナノミ科の 1 種 *Mordellidae* sp.、20 エサキモンキツノカメムシ *Sastragala esakii*、21 セアカツノカメムシ *Acanthosoma denticaudum*、22 *Urostylis* 属の 1 種 *Urostylis* sp.、23 アミガサハゴロモ *Pochazia albomaculata*、24 コオロギ科の 1 種 *Gryllidae* sp.、25 シオヤアブ *Promachus yesonicus*、26 *Tabanus* 属の 1 種 *Tabanus* sp.。

(2) 糖蜜トラップ・樹液で確認された昆虫

27 コシロシタバ *Catocala actaea* (糖蜜トラップ・樹液)、28 オオシマカラスヨトウ *Amphipyra monolitha* (樹液)、29 フクラスズメ *Arcte coerulea* (樹液)、30 カブトムシ *Allomyrina dichotoma* (樹液)、31 コクワガタ *Dorcus rectus* (樹液)、32 キマワリ *Plesiophthalmus nigrocyaneus* (樹液)、33 セスジナガキマワリ *Strongylium marseuli* (樹液)、34 ヨツボシケシキスイ *Librodor japonicus* (樹液)。

(3) その他

35 ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi* (樹幹にて羽化中)、36 ヒグラシ *Tanna japonensis* (木製の立て看板にて羽化中)、37 アヤヘリハネナガウンカ *Losbanosia hibarensis* (石垣にとまる)。

考察

先述の通りトトロの森 20 号地では、埼玉県環境部による自然環境調査の「スポット 3」地域の一部として、および隣接の早稲田大学所沢キャンパスにおいて、これまで複数回にわたって昆虫調査が行われてきたが、今回記録された昆虫のうち、スジハグルマエダシャク、ヨツモンマエジロアオシャク、ボクトウガ、アオドウガネ、ミヤマカミキリ、セアカツノカメムシ、キムネツツカッコウムシ、シオアヤブ、*Tabanus* 属の 1 種、セスジナガキマワリの計 10 種は初記録となった。トトロの森の保全活動に資する情報を得る意味で、今回の情報は有益であると考えられる。また、観察会の参加者に対しては、夜の森に住む生物の豊かさに触れてもらうという会自体の目的は、20 頭を超すカブトムシの飛来やセミの羽化を観察できたことで十分に達成されたと考えられる。こうした大型昆虫は特に親子連れの興味を喚起する効果大きい。一方で、18:30 から 19:00 というライトトラップ観察の時間設定は、昆虫の飛来にはやや時間が早く、この時間帯での昆虫類の紹介は少数にとどまった。しかし、ホタル観察後に残った希望者に対してはより多くの昆虫類を紹介できた。糖蜜トラップへの飛来はコシロシタバ 1 頭のみで、自然観察会への貢献の効果が薄かった。2018 年以降は、ライトトラップの時間設定だけでなく、微小な昆虫をどのように紹介するかなど、検討の余地がある。

おわりに

観察会の企画・運営でお世話になったトトロのふるさと基金のスタッフ・ボランティアの方々、ライトトラップ観察を共に担当した深谷秀樹氏、竹内秀夫氏、竹内里夏氏、榊映一氏に心より感謝したい。

引用文献

- 神保宇嗣 (2016) List-MJ 日本産蛾類総目録 [version 2]
(<http://listmj.mothprog.com>. 2018 年 6 月 15 日アクセス)
- 九州大学大学院農学研究院昆虫学教室 (1999) 日本産昆虫目録データベース(MOKUROKU)
(<http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/mokuroku/index-j.html>. 2018 年 6 月 15 日アクセス)
- 三井偉由 (1993) 早稲田大学所沢キャンパス昆虫類調査報告書 (II) . 早稲田大学所沢キャンパス自然環境調査室. 所沢.
- 埼玉県環境部自然環境課 (2012) 平成 23 年度北本自然観察公園狭山丘陵自然環境調査委託報告書【狭山丘陵編】. 埼玉県.
- 筑波大学昆虫調査班 (1989) 早稲田大学所沢キャンパス昆虫類調査中間報告書. 早稲田大学所沢キャンパス自然環境調査室. 所沢.

図の説明

- 図 1～図 26, ライトトラップに集まった昆虫.
- 図 27～図 34, 糖蜜トラップ・樹液で確認された昆虫.
- 図 35～図 37, その他に観察された昆虫.